

2010年度自己評価の振り返り結果  
～2011年度の重点課題～

作成： 聖母被昇天学院小学校  
聖母被昇天学院小学校評価委員会

1. 2010年度重点目標及び取り組み状況

2010年度は、学校として2009年度に教職員が行った自己評価結果及び保護者アンケート結果を受け、「生活習慣の振り返りと向上」「より確かな学力の定着」「保護者との連携」の三項目について、重点的に以下のとおり取り組みました。

| 重点目標         | 取り組み状況                                                                                                                                                                             |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生活習慣の振り返りと向上 | (1) 毎月の「生活目標」を廊下などに掲示する。全校朝礼・クラス朝礼で講話を聴く機会を持ち、実態をふり返りながら目標達成に向けて指導を行う。<br>(2) 進んで自分から挨拶できるよう、毎朝の挨拶指導を行う。<br>(3) 校舎内の整美を心掛け、教室内はもとより靴箱・傘立てなども整理整頓する。                                |
| より確かな学力の定着   | (1) 授業力・学力向上のため、研究授業・公開授業を計画的に行い実践に活かす。<br>(2) 外部講師を招いた研修により、授業研究を行う。<br>(3) 情報機器や理解を助ける教具を使ったわかりやすく楽しい授業の展開を行う。<br>(4) 授業以外アフタースクールにおいても、学習会を全学年、英語では英検級別クラスを高学年で実施し、個に合わせた指導を行う。 |
| 保護者との連携      | (1) 年間を通じた計画的な保護者対象セミナーを実施する。<br>(2) 単学年や低・中・高学年担当者の連携を深め、保護者との連絡を密にする。<br>(3) 学校案内・学校要覧により教育内容についての理解を深める。                                                                        |

2. 総合的な評価結果

2009年度の課題を受けて、建学の精神・教育目標を念頭に置き、児童一人ひとりを大切に、コミュニケーションをとりながら実情に即した指導を行ってきました。建学の精神については、教職員や児童へのさらなる浸透が望まれると思われまます。また、よりきめ細かな教育を行うために、教職員が積極的に研究授業を行って、意見交換・教材研究に努め研鑽を積みまました。そして、授業展開などの様々な機会において、基礎学力の定着をはかってまきました。しかし、さらなる校外研修参加や専門性を高めるための研鑽が必要であると感じてまいます。

2010年度も、「楽しく登校できているか」「落ち着いた授業の雰囲気」「建学の精神や教育方針に則った宗教教育など特色ある教育・行事」「保護者の相談に対する対応」「校地整備・安全管理」などの項目で保護者にアンケートにて回答していただきました。95%以上の方に、概ねできているとの評価をいただきました。さらに目標を高く持ち、礼儀正しく挨拶などができるよう、また、登下校時の態度など生活面での指導を重ねてまいます。教科指導においても、より確かな学力の定着に向けて取り組みたいと考えまます。学校でのできごとや子ども達の様子について、適切に知らせまいます。そして、今後も保護者からのご意見を活かしながら、家庭と学校がともに学べる、より良い学校教育活動を推進してまいます。

《保護者によるアンケート結果》

|                                       | よくあてはまる | 概ねあてはまる | あまりあてはまらない | 全くあてはまらない |
|---------------------------------------|---------|---------|------------|-----------|
| 1. 子ども達は、学校に楽しく登校していると思われまますか。        | 65%     | 31%     | 1%         | 0%        |
| 2. 授業は、落ち着いた雰囲気で行われていると思われまますか。       | 50%     | 45%     | 3%         | 0%        |
| 3. 礼儀正しく、挨拶などができるよう指導がなされていると思われまますか。 | 50%     | 43%     | 5%         | 0%        |
| 4. 確かな学力をつけるための教科指導がなされていると思われまますか。   | 37%     | 56%     | 4%         | 0%        |

|                                     |     |     |    |    |
|-------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 5. 建学の精神や教育方針をわかりやすく伝えていただいておりますか。  | 56% | 38% | 4% | 0% |
| 6. 建学の精神に則った宗教教育など特色ある教育がなされていますか。  | 64% | 31% | 2% | 0% |
| 7. 特色ある学校行事が実施されていると思われませんか。        | 57% | 39% | 2% | 0% |
| 8. 学校は、子ども達の話に耳を傾けていると思われませんか。      | 42% | 50% | 5% | 0% |
| 9. 保護者の悩みや相談、問い合わせなどにも丁寧に対応していますか。  | 57% | 38% | 2% | 0% |
| 10. 学校のできごとや子ども達の様子について適切に知らせていますか。 | 43% | 47% | 7% | 0% |
| 11. 子ども達の健康管理に、気を配っていると思われませんか。     | 49% | 47% | 2% | 0% |
| 12. 校地は整備され、安全管理に気を配っていると思われませんか。   | 63% | 33% | 2% | 0% |

#### 《保護者アンケート自由記述より》

- ・ 女子校で少人数の学校で、非常に落ち着いた環境の中での勉強ができています。本当に安心して通学させることができていると思います。先生方も丁寧なご指導を頂き、有り難く思っております。
- ・ 小学校に入学して2年が過ぎましたが、娘は楽しく学校へ通っており、親ともども安心しております。勉強の事だけでなく、所作や作法の事なども指導して頂いているようで、時には厳しく、広い心で温かく子どもを見守ってくださっていることに感謝しています。先生方のお話や、子どもに学校での様子を聞くたびに、この学校で学べてよかったと思っております。
- ・ 困ったことがあっても相談しやすく、迅速に対応してくださるので、心強く安心です。チャレンジタイムの時のように能力別クラスでの授業は、よい刺激になっているようです。食堂からのお弁当は助かります。
- ・ 難しいこととは思いますが、言葉遣いやお行儀について、もっと細かい指導がいただけますと有り難いです。せっかくの女子校ならではの教育だと思います。将来子ども達が社会人となった時、このまだ幼い小学生時代に培われた女性としての品性は、きっと彼女達の財産となり、親として感謝致します。家庭でももちろん精一杯しつづけますが、学校が実践の場となって、子ども達同志刺激し合っていければ素晴らしいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・ 長女の時から感じていましたが、鉛筆を低学年の間は、無地のみと決めた方がよいと思います。勉強に支障の無いもので、と言っても各親によって感覚が違います。そこからトラブルに入るのもあると思います。高学年に入ってから、各自の責任、問題が起きたら禁止令を出すことで、子どもも何故禁止になったかも理解できると思います。持ち物についてメリハリをつけて頂きたいです。
- ・ アフタースクール（書道・図工・礼法・手話）の時間が短いので思ったより子どもが身に付いていないように思えます。墨をすった事がなかったり、後かたづけをした事がなかったりせっかく習うのであれば、しっかり体験をさせてもらえたらと思います。また、3年生以上に模試（校外模試）があれば、被昇天の学力で大丈夫なのか？という心配がなくなると思います。

#### 3. 今後取り組むべき課題

建学の精神についてさらに理解を深めながら教員自身が実践し、子ども達に伝えるために研鑽を積み重ねなければならないと考えます。その中で、日々の生活習慣や礼儀においても精神があらわれるよう、保護者との連携を図りながら努力を積み重ねてまいります。高学年もアフタースクールでシスターのお話を聴いたりすることも、そのよい機会としたいと思います。

また、教職員間での報告・連携についてさらなる効果的な方策をとり、担任と低・中・高学年部会による学年支援の組織強化を図ってまいります。

確かな学力をつけるための教科指導については、講師を招いての教員研修などを通し、昨年度も多くの研究授業で研鑽を積みました。保護者にも講演をお聴きいただく機会を設け、家庭と連携しながら授業研究の成果を活かして指導できるよう、さらに授業力を高めてまいります。

この学校評価を、日々の教育活動を振り返るよい機会と捉え、意欲ある学校教育を行ってまいりたいと考えます。

#### 4. 学校関係者評価

- ・ キリスト教の精神に基づく、温かい家庭的な学校の雰囲気の中で教職員 1 人ひとりが、きめ細かな安心できる指導を行っている。
- ・ 学習面だけではなく礼儀作法についての指導、奉仕活動への意識付けをしたり、異学年との交流の機会を持ったりしながら社会性を身につけるための女子教育を教職員が行っている。
- ・ 英語教育・国際交流について様々な取り組みが行われている。
- ・ 教育課程の中だけでなく、課外授業などでも個性を尊重し、様々な力を引き出していることについて評価できる。